

学校欠席者情報収集システムの 現状と今後の運営について

平成29年2月16日

日本学校保健会

本日の内容

1. 日本学校保健会について
2. 運営主体の変更に関する経緯
3. 現在の導入状況
4. 運営経費の課題現在のシステムを維持するために必要な「システム改修」と新規導入について「お願い」等（検討中を含む）
5. 症候群サーベイランスホームページについて

1. 日本学校保健会について



公益財団法人 日本学校保健会

《会長》 横倉 義武（公益社団法人 日本医師会会長）

《目的》 我が国における学校保健の向上発展に寄与する。

《創立》 大正9年に「帝国学校衛生会」として発足、平成24年に公益財団法人に移行、2020年に100周年を迎える

《役員》

会 長	日本医師会会長
副会長	日本医師会常任理事、日本学校歯科医師会 日本薬剤師会
専務理事	日本医師会学校医会委員
常任理事	各支部代表・学識経験者
理 事	全国校長会・全国PTA連絡協議会 関連団体（保健主事・養護教諭・学校栄養士他）

主な事業

保健学習の
支援

衛生的な環境
整備の推進

情報提供事業

健康教育のため
の出版・販売

民間企業等の
健康教育事業
への連携・協力

児童生徒の健
康状態サーベ
イランス事業

保健管理の
改善

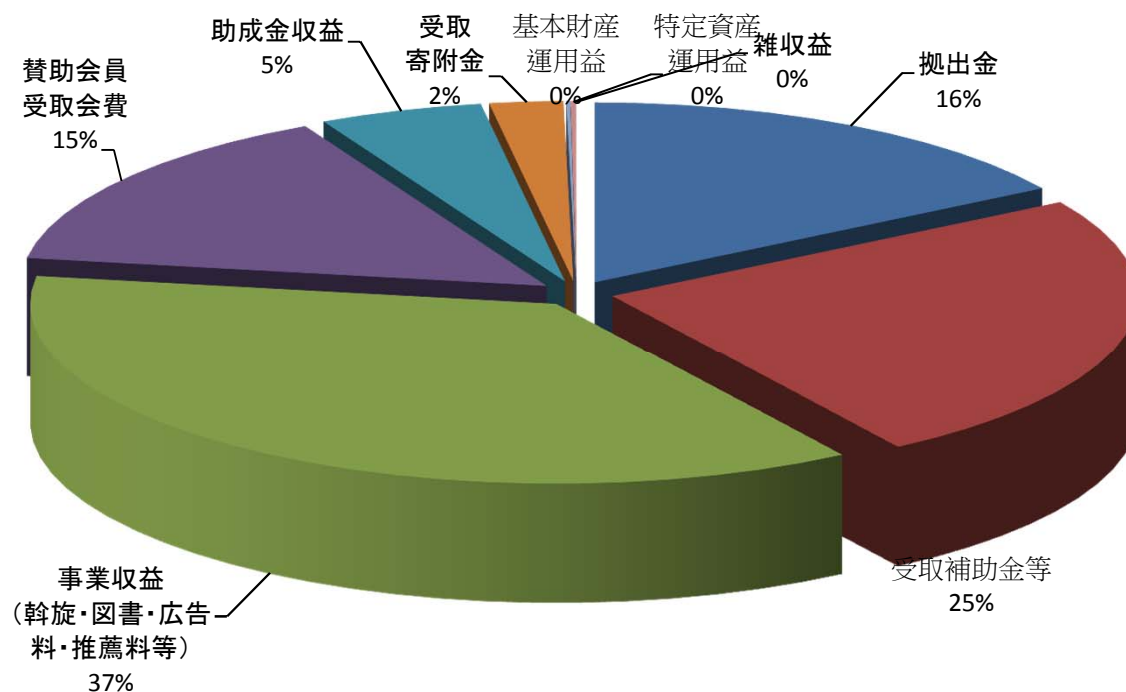
健康づくり推進
学校表彰

その他

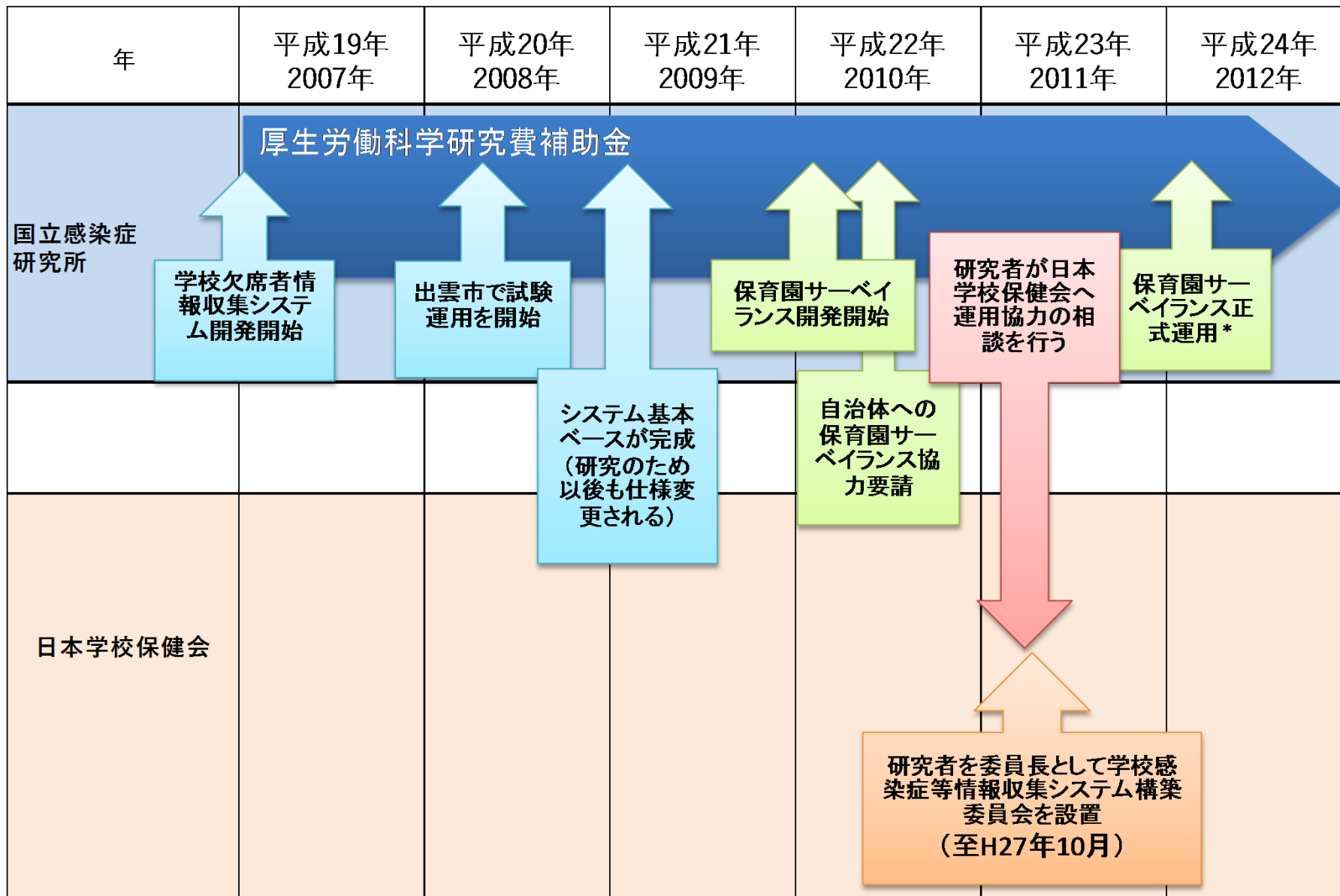
薬物乱用防止教育
歯・口の健康管理等
医薬品に関する教育

収入割合(平成26年度)

科目	金額	割合
拠出金	29,767,105	16.3%
受取補助金等	45,102,000	24.6%
事業収益(斡旋・図書・広告料・推薦料等)	67,056,357	36.6%
賛助会員受取会費	27,335,000	14.9%
助成金収益	9,220,000	5.0%
受取寄附金	4,150,000	2.3%
基本財産運用益	226,908	0.1%
特定資産運用益	302,657	0.2%
雑収益	14,195	0.0%
合計	183,174,222	100%

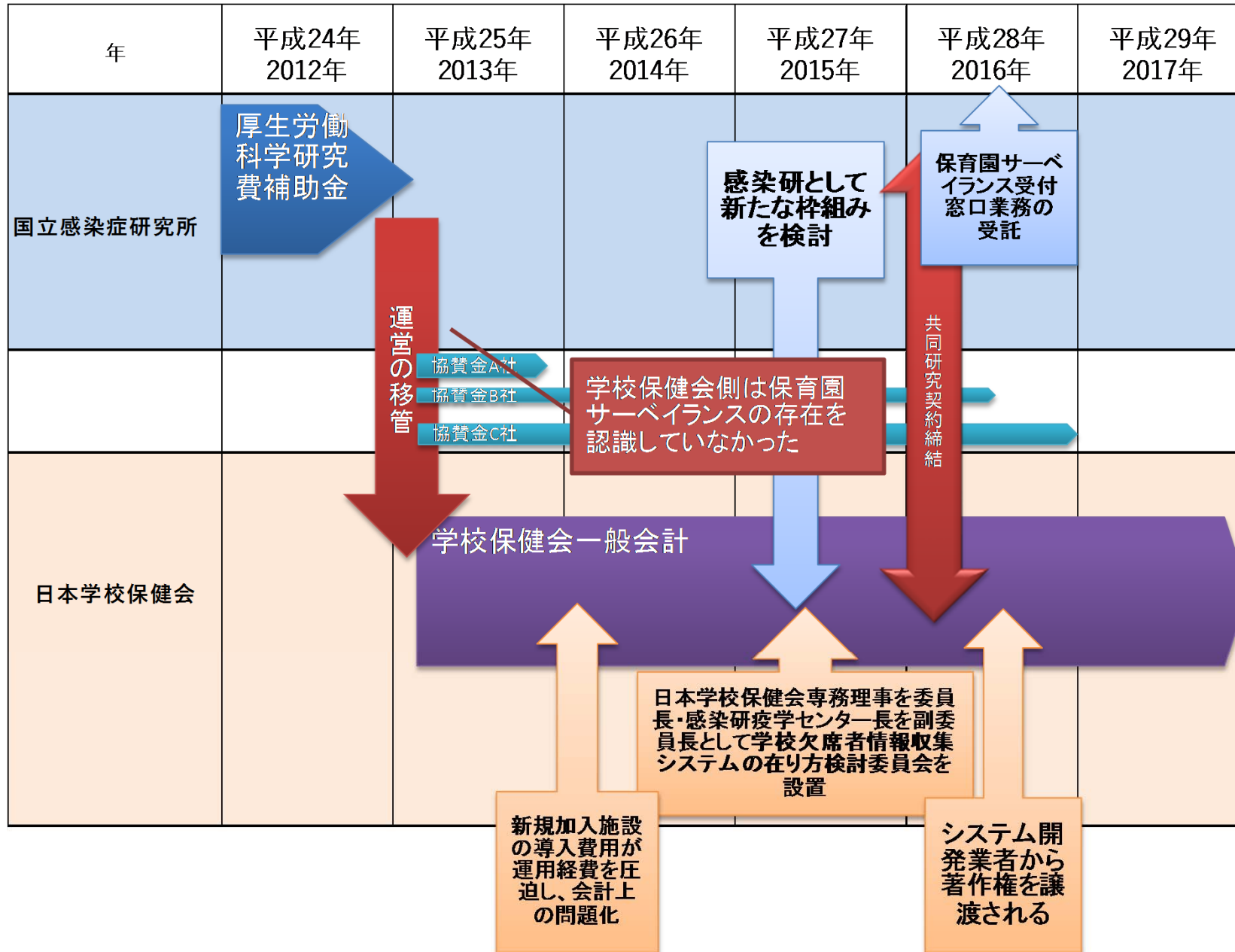


2. 学校欠席者情報収集システムの運営主体変更に関する経緯(1)



*「保育界」2014年8月号記事より

2. 学校欠席者情報収集システムの運営主体変更に関する経緯(2)



3. 現在の導入状況(平成28年4月現在)

種別	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	保育園	こども園
導入施設数(H28.4)	3,547	11,887	5,620	2,964	746	9,231	976
全国総施設数(H28)	11,252	20,313	10,404	4,925	1,125	23,447	3,533
システム導入率	31.5%	58.5%	54.0%	60.2%	66.3%	39.4%	27.6%

	都道府県	指定都市
学校導入率80%以上	24	7
保育園導入率80%以上	11	5

4. 運営経費の課題

- 当初は、1県の加入率が80%越えると共に、1サーバー増やす形式（1県1サーバー）で、平成31年度には1600万円/年を越す維持管理経費概算案で、事業見直しの結果コストダウンの必要に迫られた
- 在り方検討委員会で、22台のサーバーを7台に集約するなど約300万円のコストダウン
- 平成25年度には3社の協賛企業からそれぞれ300万円の協賛金があったが、平成28年度をもって、すべての企業が本事業の協賛から撤退

4. 運営経費の課題

- 年間1000万円程度の**運用維持経費**（新規導入・研修会を行わない最低限の維持費用）が必要
- **新規導入に必要な経費**（新規登録、地図作成、書式作成）の費用（平均的県で1県当たり100万円弱前後）
- 膨れあがるデータのスリム化のための**システム改修費用**
- **研修会開催費用**
- 安定運用に対して関係団体と交渉中
- 安定運用のため、新たな賛助金制度なども検討中

5. システム改修と新規導入のお願い (検討中を含む)

- 過去 5 年間以上前の素データ削除（アーカイブとして残す）と、将来的に更なるデータスリム化
- 現在の利用者も含め、利用許諾の締結と本会への担当窓口及び担当者の明確化
- 新規導入について、数施設単位の導入ではなく、区市または県単位で集約して導入のお願い
- 現仕様の「地図」と「届出様式」の作成については、導入時に利用者負担化をお願いする方向で検討中
- 来年度の新規導入の申込みについて、年度当初に関係通知送付予定

研修会について

- **研修会開催方式の変更**
- 平成29年1月から従来のスタートアップ研修・フォローアップ研修については、出前形式の出張研修会を行わない。これは国立感染症研究所の方針でもある
- 来年度の研修会は、夏季に関東・近畿地区の2会場で実施を検討中、詳細は在り方検討委員会にて協議中、年度当初に開催通知送付予定
- システムに関する問合せ等は、都道府県・指定都市又は市区町村の担当課が窓口となり、本会（感染研）にご連絡ください。（問い合わせ等への対応も在り方検討委員会にて協議中）

6. 症候群サーベイランスホームページについて

本ホームページは、平成28年6月に本会が感染研に削除要請を行って閉鎖された。

The screenshot shows the homepage for 'Syndromic Surveillance' (症候群サーベイランス). The page title is 'Syndromic Surveillance' with the Japanese translation '症候群サーベイランス' and a subtitle '早期探知システムのご紹介' (Introduction to the Early Detection System). A navigation bar includes a language switch to English and several menu items: '論文ダウンロード' (Download Papers), 'イベント開催時における強化サーベイランス' (Enhanced Surveillance during Events), '一般公開について' (About General Release), and 'お問い合わせ' (Contact Us). The main content area features a section titled '◆ 症候群サーベイランスとは？' (What is Syndromic Surveillance?). It explains that the system uses 'Syndromic Surveillance' for early detection of infectious diseases. Key points include: monitoring 'symptoms' for early detection, real-time automatic analysis and 24-hour monitoring, and nationwide early detection for 'early response'. A 'もっと詳しく' (Learn More) button is provided. Below this, it states that surveillance is conducted across various settings: '外来' (Outpatient), '入院' (Inpatient), '救急車搬送' (Ambulance Transfer), '薬局' (Pharmacy), 'OTC (一般用医薬品)' (Over-the-counter drugs), '保育園' (Nursery), '学校欠席' (School Absenteeism), '高齢者施設 (老人保健施設)' (Elderly Care Facility), and '検査' (Testing). A grid of icons represents these settings, with '薬局' and '検査' marked as '昨日の状況掲載中' (Posting yesterday's status) and '入院' and '保育園' marked as '本日の状況掲載中' (Posting today's status).

平成28年12月27日現在

お知らせ

- ▶ 採用情報
- ▶ 調達情報
- ▶ 情報公開
- ▶ 公開講座・研修
- ▶ その他

感染症情報

- ▶ 疾患名で探す
- ▶ 感染源や特徴で探す
- ▶ 予防接種情報
- ▶ 災害と感染症

研究・検査・病原体管理

- ▶ 研究情報
- ▶ 検定検査情報
- ▶ レファレンス

「症候群サーベイランス」を詐称した サイトにご注意ください

国立感染症研究所が開発に関与し、[公益財団法人 日本学校保健会](#)で運営されている「学校サーベイランスシステム」を含む症候群サーベイランスの紹介ページを詐称したサイトが発見されました。

当該のサイトは、以下のアドレスでアクセスできます。

<http://www.syndromic-surveillance.com/>

このサイトは、感染研が公認した[症候群サーベイランスの紹介ページ](#) (<http://www.syndromic-surveillance.net/>) とは異なります。また学校サーベイランスシステムの運用主体である学校保健会も全く関知していないページです。このサイトに記述されている一切の事柄について、国立感染症研究所および学校保健会は関知いたしませんので、アクセスにはご注意ください。

ご迷惑をおかけしていることを、お詫びいたします。

その他のお知らせ【更新情報】

[「症候群サーベイランス」を詐称したサイトにご注意ください](#)

[「国立感染症研究所」を詐称したブタインフルエンザ関連メールにご注意ください](#)

[「国立感染症研究所」を詐称した不審なメールにご注意ください](#)

【関連記事】

[2010-06-23 - 獣医科学部トップページ](#)

[2012-06-23 - 獣医科学部第二室](#)

[2013-12-19 - 2012年ロンドン五輪競技会での国際的感染症サーベイランス](#)

最後に

- 日本学校保健会と国立感染症研究所は、可能な限り、本システム利用者（保育園含む）に不利益を与えないよう努力しています
- 本システムの利用実績報告や事例紹介など、利用者からもフィードバックをお願いしたい
- 平成29年度より学校欠席者情報収集システムと保育園サーベイランスを一体化して、「**学校等欠席者・感染症情報システム**」に名称変更を検討中
- 本システムについて、利用者・利用希望者は、本連絡先を厳守いただきたい

学校欠席者情報システム⇒日本学校保健会事務局

担当（柴田・永井） TEL03-3501-0968

E-mail : nagai@hokenkai.or.jp

保育園サーベイランス⇒国立感染症研究所

担当（宮間） E-mail:nursys@niid.go.jp